記録の速報は▼kachimai.mobi
写真がほしい▼TEL0120-25-9410

押切（中札内中出）女子1000初優勝

神谷（白樺学園高出）3位、2冠逃す

スピードスケートジュニアW杯

【苫小牧】スピードスケートのＩＳＵジュニアワールドカップ競技会苫小牧大会（国際スケート連盟主催）は20日、初日の競技を行った。女子1000㍍は初出場の押切美沙紀（駒大苫小牧高３年―中札内中出）が１分21秒49で優勝。神谷衣理那（日本電産サンキョー―白樺学園高出）は３位だった。男子500㍍１回目準優勝の三輪準也（白樺学園高２年）は同1500㍍でも３位に食い込んだ。女子3000㍍は高山梨沙（駒大苫小牧高２年）が準優勝、高橋菜那（白樺学園高２年）は３位だった。（高橋宏幸、塩原真）

【女子1000㍍】競技後リンクサイドの声援に応える押切美沙紀

全日本ジュニアへ手応え

押切美沙紀がホームリンクで快走を見せて女子1000㍍の頂点に立った。スタートからフィニッシュまでスピードを落とさずに滑り抜き、苫小牧ハイランドスポーツセンターでの自己ベストを約２秒縮める会心のレース。「苫小牧のリンクで22秒も出したことなかったので満足。全体的に良かった」と笑顔を輝かせた。

600～1000㍍のラップは出場11選手中で最速の32秒31と、ラスト1周のスピードが際立った。駒大苫小牧高では短距離選手も800～1200㍍の練習を中・長距離の選手と行うことが多く、そこで培った持久力の強化が結実したレースとなった。

今年の全日本ジュニアは総合に転向する予定で、今季は1500㍍にも力を入れている。昨年はインターハイ500㍍優勝、全日本ジュニアスプリント準優勝と、同世代屈指のスプリンターとして存在感を示したが、世界ジュニアでは高木菜那・美帆姉妹（ともに帯南商高）と3人で組んだチームパシュートで準優勝に貢献と、中距離の素質ものぞかせた。

中距離挑戦を勧めた駒大苫小牧高の中村卓也コーチは、押切の運動能力の高さなどポテンシャルを高く評価し、「押切が頑張れば500㍍、1000㍍、1500㍍の3つで高木美帆と小差のまま3000㍍に持ち込める。高木美帆に対抗できるのは押切しかいない」と期待を込めている。

卒業後は富士急に進むことも内定。「レベルが高くてついていけるか不安だけど、頑張ってついて行って伸びていけたらいいなと思う。ソチ五輪を目指して頑張りたい」と意欲を新たに、高校最後のシーズンに全力を注ぐつもりだ。

【男子500㍍１回目】36秒79で２位に入った三輪準也

百%の力出せた　三輪

○…三輪準也は男子500㍍で日本勢では唯一の36秒台となる36秒79の好タイムで準優勝。「足がいつも以上に動いて、今シーズン初めて最初から最後まで百%出せた。しっかり集中できて、今出せる力を出せて気持ち良かった」と満足そうな表情。それだけに、優勝した韓国の金晟奎のタイム36秒38には「あまりにも速くて、実力を見せつけられた」と脱帽していた。

1500㍍は独走で緊張感が保てず、3位どまりだったが「滑り自体は悪くなかった」と手応えはあった。最終日の1000㍍に向けて三輪は「W杯（帯広大会）で選ばれている種目。いつも通りの最後に落ちない滑りができれば勝てる」と意気込んでいた。

優勝逃し悔しい

女子3000㍍3位の高橋菜那の話　優勝を狙っていたので悔しい。入りのスピードは出せるようになったが、後半の落ち幅が大きくなってしまった。最後に落ちてしまうのは体力が原因。インターハイに向けてしっかり体力づくりをしていきたい。

（2位以下日本関係分）

【男子】▽1500㍍＝①李佰林（中国）1分54秒55②近藤太郎（駒大苫小牧高）1分55秒02③三輪準也（白樺学園高）1分55秒23④渡部知也（日体大―池田高出）1分55秒62⑥由井大陽（佐久長聖高）1分59秒47⑦小坂龍（白樺学園高）1分59秒53

【女子】▽1000㍍＝①押切美沙紀（駒大苫小牧高―中札内中出）1分21秒49③神谷衣理那（日本電産サンキョー―白樺学園高出）1分21秒94④永田希絵（帯南商高）1分23秒21⑥辻中杏奈（岡谷南高）1分24秒01⑪宮澤里沙（市立長野高）1分25秒69

▽3000㍍（カルテット）＝①金ボルム（韓国）4分28秒66②高山梨沙（駒大苫小牧高）4分29秒57③高橋菜那（白樺学園高）4分29秒87④高木菜那（帯南商高）4分31秒13⑥谷垣彩香（同）4分39秒28

【女子3000㍍】コーナーを力走する高橋菜那

W杯スケート

長島6位、及川7位

高木、連日のBクラス1位

男子500

【ベルリン時事】スピードスケートのワールドカップ（W杯）今季第2戦、ベルリン大会第2日は20日、当地で行われ、男子500㍍は加藤条治（日本電産サンキョー）が35秒21で5位、長島圭一郎（日本電産サンキョー―池田高出）は35秒22で6位だった。及川佑（大和ハウス工業―山梨学院大、池田高出）が35秒23で7位、太田明生（JR北海道―明大、池田高出）が同タイムの8位。女子Bクラスの500㍍で16歳の高木美帆（帯南商高）が39秒45で1位となった。

女子は500㍍で小平奈緒（相澤病院）が38秒65で4位に入った。辻麻希（十六銀行―白樺学園高出）は10位、仁科有加那（日本電産サンキョー―帯南商高出）は14位。ジェニー・ウォルフ（ドイツ）が37秒98で快勝し、開幕4連勝を飾った。3000㍍の日本勢は石野枝里子（日本電産サンキョー―白樺学園高出）が4分7秒67で7位に入ったのが最高、石澤志穂（苫小牧スケート連盟―駒大苫小牧高、中札内中出）は10位。男子Bクラスの1500㍍は阿部大輝（クレアシオン・インベストメント―日大、白樺学園高出）が13位。

自信につながる　高木

▽…16歳の高木が格下のBクラスながら第1日の1500㍍に続いて表彰台の中央に立ち、「勝つことは自信になる」と笑顔を見せた。とはいえ、39秒45のタイムに納得しているわけではない。コーナーの加速も課題として残ったままで、「全体的にタイミングが合わない」と首をかしげる。

最終日の21日はAクラスの1000㍍に出場する。「Aでも自分の滑りをして、最低でも1分17秒台を出したい」と気合を入れ直した。

うまくいかない

長島圭一郎の話　分かっていてもうまくいかない。（五輪後で）気が抜けている部分はあった。1シーズン通しての体力に不安がある。

「しんどかった」　加藤

▽…前日に続く連勝を逃し、5位にとどまった加藤は「しんどかった」とさえない表情。「最初から体が動いていないのが分かった」と言う。

昨季までのシーズンで、前半戦が好調だったにもかかわらず、後半戦になって調子が下降線をたどったことも。「（2勝して）今はうれしいが、後で落ちてくるかもとの不安がある」とうつむいた。

4位にも前向き　小平

▽…小平は100分の9秒差で表彰台を逃したが、「体を低くして滑ることができた」と納得の表情。38秒65というタイムも「次につながる」と前向きにとらえた。

最初の100㍍は10秒78と出遅れた。「その後のラップは（開幕4連勝の）ウォルフと変わらない。100を速く入れれば、記録が上がると思う」と課題は分かっている。「はまればウォルフの次くらいにはいける」と手応え十分。「自信を失わずにどんどんいきたい。あすの1000でも力を出したい」と意欲的だ。

（20日・2位以下日本選手関係分）

【男子】▽500㍍A＝①ペッカ・コスケラ（フィンランド）34秒90⑤加藤条治（日本電産サンキョー）35秒21⑥長島圭一郎（日本電産サンキョー―日大、池田高出）35秒22⑦及川佑（大和ハウス工業―山梨学院大、池田高出）35秒23⑧太田明生（JR北海道―明大、池田高出）35秒23⑳羽賀亮平（日大―白樺学園高出）35秒88

▽1500㍍A＝①ホーバルト・ベッコ（ノルウェー）1分45秒27

▽1500㍍B＝⑬阿部大輝（クレアシオン・インベストメント―日大、白樺学園高出）1分50秒61⑮小田卓朗（山形中央高）1分50秒85

【女子】▽500㍍A＝①ジェニー・ウォルフ（ドイツ）37秒98④小平奈緒（相澤病院）38秒65⑩辻麻希（十六銀行―白樺学園高出）39秒13⑭仁科有加那（日本電産サンキョー―帯南商高出）39秒20

▽500㍍B＝①高木美帆（帯南商高）39秒45⑤清水玲香（日体大）39秒94

▽3000㍍A＝①ジリアン・ルカード（米国）4分4秒39⑦石野枝里子（日本電産サンキョー―白樺学園高出）4分7秒67⑩石澤志穂（苫小牧スケート連盟―駒大苫小牧高、中札内中出）4分11秒06⑫穂積雅子（ダイチ）4分11秒62⑱松岡芙蓉（富士急）4分16秒48

▽3000㍍B＝③菊池彩花（富士急）4分13秒82

半世紀の節目祝う

全十勝・市中体連記念式典

歴代会長ら34人表彰

式辞を述べる林忍会長

全十勝中学校体育連盟（林忍会長）および帯広市中体連（同）の創立50周年式典が20日、帯広市内のとかちプラザ1階アトリウムで開かれ、現役・元体育教諭や各競技団体役員ら約140人が節目を祝った。

物故者黙とうに続き、林会長が「今後もスポーツ活動を通して子どもたちの夢を与え、健全な若者の育成のために中体連の組織を挙げて精進、努力していきたい」と式辞を述べた。表彰では歴代会長、同理事長、同事務局長、各競技の専門委員長の計34人に感謝状が贈られた。

全十勝中体連は1960年に全十勝中学校体育連盟協議会として加盟155校で創立。89年、98年に全国スケート・アイスホッケー大会、94年に全国卓球大会をそれぞれ帯広市で開催してきた。現在の加盟校は53。式典に先立ち、同プラザで東海大体育学部の小澤治夫教授の記念講演会を行った。

感謝状受賞者は次の通り。（敬称略）

▽歴代会長＝関根幹夫、辻忠治、高山洋一（故人）、岩城徳三、小林重雄、高坂隆藏、鈴木孝昭、小島哲夫
▽同理事長＝赤坂一夫、村中俱義
▽同事務局長＝石倉貴浩、水戸剛、川岸仁、幅岸正盛、丹野寛、仲俣利章
▽専門委員長＝橋場智、山村照市、佐々木清彦、若山茂樹、藤原勝彦、西健治（故人）、河端則好、齊藤雅俊、荒川昭、林豊久（故人）、高木良則、垂井智、福井新一、花井豊、飛鷹清広、川口順司、佐藤春樹、坂田春雄

元全日本、青山さんが指導

バレー教室に小中学生85人参加

青山さん（左）から基本技術を教わる子供たち

稲田バレーボール少年団（有働ちあき会長）が20日、白樺学園高で元全日本代表の青山繁さん（41）を講師に招いたバレーボール教室を開いた。少年団から中学生まで85人が参加してバルセロナ五輪などで活躍した青山さんから技術を学んだ。

同少年団と南地区バレーボール後援会が子供たちに競技の楽しさを知ってもらおうと初めて開催。稲田JVCプリンセスの36人のほか、帯南町中や芽室、音更、幕別の少年団の選手たちも参加。白樺学園高のバレーボール部員が指導を補助した。

富士フイルム、東レなどでプレーし2006年に引退、現在は中京大監督を務める青山さんは基本をみっちりと指導。午前はサーブやパス練習を行い、アンダーハンドパスでは「足を速く動かしてボールの下に入るように」と自ら実演。午後からはスパイク練習などに取り組んだ。

参加者はアドバイスに真剣に耳を傾けた。稲田少年団の小林駿君（6年）は「言われた通り前に重心を掛けると強いサーブが打てた」とうれしそう。有働未啓さん（6年）は「アンダーでの腕の位置などを分かりやすく教えてくれた」と感激していた。（古川雄介）

4チーム激突

市中学IH開幕

アイスホッケーの第51回帯広市中体連冬季大会が20日、帯広の森アイスアリーナで開幕した。帯二、帯八、連合B（帯一・帯六・帯西陵・帯緑園）、連合C（帯三・帯四・帯五・帯七・帯大空・帯南町）の4チームが23日まで総当たりのリーグ戦を繰り広げる。

◇リーグ戦

連合C　5（3―1、1―2、1―0）3　帯二

▽得点者【連】高橋侑2、鎌田、澤崎、猪股【帯】石田2、長原　▽アシスト【連】福島3、鎌田、蓑島、澤崎　▽反則【連】0【帯】2　▽シュート数【連】26（9、5、12）【帯】27（11、9、7）　▽審判＝山口、小室

帯八　5（2―0、1―0、2―0）0　連合B

▽得点者【帯】阿部、山口、香田、志賀、宮田　▽アシスト【帯】阿部2、香田、古川　▽反則【帯】4【連】1　▽シュート数【帯】35（11、13、11）【連】12（5、3、4）　▽審判＝代田晃、渡辺

社会人アイスホッケー　Aプール

◆北原産業杯争奪リーグ戦（20日・帯広の森スポーツセンター）

鳥せい御影クラブ（2勝）　3（2―0、0―0、1―0）0　竹田電気ウラホロ（2勝1敗）

▽得点者【鳥】①梅森（1P5分26秒）②岩波脩（3P3分41秒）③谷→梅森（3P12分4秒）　▽反則【鳥】2（チーム、岩波脩）【竹】0　▽シュート数【鳥】55（13、16、26）【竹】18（4、8、6）　▽審判＝笹村和、宿院、廣川

決勝T進出チーム決まる

高校バスケット

バスケットボールの第61回全十勝高校選手権大会第1日は20日、帯南商高などで男女の予選ブロックを行った。男女のシードブロック（A、F）の各チームと他ブロックの上位2チームが決勝トーナメントに進出した。21、23日に決勝トーナメントを行う。

【男子】◇予選▽Aブロック（トーナメント）
▼1回戦
白樺学園 135―72 帯柏葉
帯三条 67―57 帯工
▼決勝
白樺学園 95―71 帯三条
▼敗者戦
帯工 84―57 帯柏葉
※①白樺学園②帯三条③帯工④帯柏葉

▽Bブロック（同）
▼1回戦
江陵 129―45 新得・池田
帯農 87―61 音更
▼決勝
帯農 63―56 江陵
▼敗者戦
音更 93―58 新得・池田
※①帯農②江陵③音更④新得・池田

▽Cブロック（同）
▼1回戦
大樹 73―54 鹿追
帯北 83―62 帯大谷
▼決勝
帯北 128―63 大樹
▼敗者戦
帯大谷 108―46 鹿追
※①帯北②大樹③帯大谷④鹿追

▽Dブロック（リーグ戦）
帯緑陽 115―45 芽室
芽室 68―67 帯広尾
帯緑陽 108―42 帯広尾
※①帯緑陽②芽室③帯広尾

▽Eブロック（同）
本別 103―26 上士幌
清水 106―19 上士幌
本別 101―61 清水
※①本別②清水③上士幌

【女子】◇予選▽Fブロック（トーナメント）
▼1回戦
帯南商 100―20 帯北
帯大谷 69―53 帯緑陽
▼決勝
帯南商 81―42 帯大谷
▼敗者戦
帯北 83―60 帯緑陽
※①帯南商②帯大谷③帯北④帯緑陽

▽Gブロック（同）
▼1回戦
江陵 112―33 清水
帯農 107―55 鹿追
▼決勝
江陵 107―38 帯農
▼敗者戦
清水 72―66 鹿追
※①江陵②帯農③清水④鹿追

▽Hブロック（同）
▼1回戦
帯柏葉 136―31 新得・士幌・音更
帯三条 148―35 芽室
▼決勝
帯三条 74―70 帯柏葉
▼敗者戦
新得・士幌・音更 81―70 芽室
※①帯三条②帯柏葉③新得・士幌・音更④芽室